

令和8年

7月12日(日) 14時開演

(13時30分開場)

大田区民プラザ 大ホール



梶山伏

ふくろやまぶし



撮影：政川慎治

万作 萬齋

狂言の会

蚊相撲

かずきろう



料金 一般4500円 中学生以下1500円

※小学生以上入場可

※車椅子席(2席)をご希望のお客様はお電話か窓口でお申込ください。

〈オンライン・電話〉4月14日(火)12時〜

<http://www.ota-bunka.or.jp/>

専用電話 03(3750)1555(12時〜17時 休館日を除く)

※オンライン(24時間対応)

公演日前日19時までご予約いただけます(残席がある場合)。

※電子チケット・コンビニ発券の場合は別途手数料がかかります。

〈窓口〉4月15日(水)10時〜

※オンライン・電話で予定枚数を終了した場合窓口販売は行いません。

※3館窓口(10時〜19時)

大田区民ホール・アプリコ(大田区蒲田5-37-3)

大田区民プラザ(大田区下丸子3-1-3)

大田文化の森(大田区中央2-10-1)

狂言体験ワークショップ参加者募集
詳しいご案内は裏面をご覧ください。



東京都大田区下丸子3-1-3
東急多摩川線「下丸子駅」駅前/東急池上線「千鳥町」から徒歩7分



オンラインチケット

〈主催〉公益財団法人 大田区文化振興協会

ota_bunka otabunkaart otabunkaart

大田区文化振興協会 大田区文化振興協会チャンネル

番組表

解説・ワークショップ

中村 修一・内藤 連

小舞

景清
後

中村 修一

地謡

月崎 晴夫
内藤 連
野村 裕基
岡 聡史

梶山伏

山伏

野村 万作

兄弟 福田 成生
後見 岡 聡史
月崎 晴夫

― 休憩十五分 ―

蚊相撲

大名

野村 萬斎

太郎冠者
蚊の精
後見 高野 和憲
野村 裕基
月崎 晴夫

野村 万作 (のむら まんさく)



1931年生。重要無形文化財各個指定保持者(人間国宝)。文化功労者。日本芸術院会員。文化勲章を受章。祖父・故初世野村萬斎及び父・故六世野村万蔵に師事。早稲田大学文学部卒業。「万作の会」主宰。軽妙洒脱かつ緻密な表現のなかに深い情感を湛える、品格ある芸は、狂言の一つの頂点を感じさせる。国内外で狂言普及に貢献。ハワイ大・ワシントン大では客員教授を務める。狂言の技術の粋が尽くされる秘曲『釣狐』に長年取り組み、その演技で芸術祭大賞を受賞。その他、観世寿夫記念法政大学能楽賞、松尾芸能賞、紀伊國屋演劇賞、日本芸術院賞、紫綬褒章、坪内逍遙大賞、朝日賞、長谷川伸賞、旭日小綬章、中日文化賞、ニューヨーク・ジャパソサエティ賞、NHK放送文化賞等、多数の受賞歴を持つ。『月に憑かれたピエロ』『子午線の祀り』『秋江』『法螺侍』『敦・山月記・名人伝』『榊山節考』等、狂言師として新たな試みにもしばしば取り組み、現在に至る狂言隆盛の礎を築く。

2025年、九十年を超える芸境を記録した映画「六つの顔」(犬童一心監督)が公開された。

野村 萬斎 (のむら まんさい)



1966年生。祖父・故六世野村万蔵及び父・野村万作に師事。重要無形文化財総合指定保持者。東京藝術大学音楽学部卒業。

「狂言ござる乃座」主宰。国内外で多数の狂言・能公演に参加、普及に貢献する一方、現代劇や映画・テレビドラマの主演、舞台『敦・山月記・名人伝』『子午線の祀り』『ハムレット』『能・狂言「鬼滅の刃」』『日出処の天子』をはじめ、古典の技法を駆使した作品の演出など幅広く活躍。現在の日本の文化芸術を牽引するトップランナーのひとり。芸術祭新人賞・優秀賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、朝日舞台芸術賞、紀伊國屋演劇賞、毎日芸術賞千田是也賞、観世寿夫記念法政大学能楽賞、松尾芸能賞・大賞、坪内逍遙大賞受賞。東京藝術大学・日本大学芸術学部客員教授。石川県立音楽堂アーティストック・クリエイティブ・ディレクター。公益社団法人全国公立文化施設協会会長。

◎梶山伏(ふくろやまぶし)

山から戻つて以来、様子がおかしい弟を心配した兄は、山伏に祈禱を頼みにいく。山伏が弟の様子を見て折り始めると、弟はうつろな目つきで鳴き声をあげる。聞けば弟は山で梶の巣にイタズラをしたことが分かる。梶が取り憑いたものであろうと、山伏は懸命に祈るのだが、症状はますますひどくなるばかり。そしてついには…。

梶の鳴き声が印象的な楽しい演目です。観ている皆さんの頭にも、梶の鳴き声がこびりついて離れなくなってしまうかもしれませんね。

◎蚊相撲(かずもう)

大名が新しい召使を抱えようと、太郎冠者に探しに行かせる。そこへ、都に上り人の血を吸うため、人間の姿になつた江州守山の蚊の精が通りかかり、正体に気づかない太郎冠者は蚊の精を連れ帰る。新しい召使は相撲が得意と聞き、喜んだ大名は早速取らせて見たいと思うが、相手がいないのでやむなく自身で相手をする。蚊に刺されて目を回してしまう。蚊の正体に気づいた大名は、勝つたためにあるものを持ち出すのだが…。

人間である大名と蚊の精が相撲をとるといふ、何とも奇想天外な作品です。大らかな大名と、蚊の特徴がデフォルメされた蚊の精の動きに注目下さい。

狂言体験ワークショップ 参加者募集

開演から30分、舞台上で狂言師の直接指導によるワークショップを実施。狂言独特の所作(歩き方や立ち居振る舞い等)を体験していただきます。

(応募概要)

- 対象 当該公演のチケットを購入された小学生3年生以上の方。正座ができる方。
- 定員 20名(応募多数の場合は抽選)
- 申込期間 令和8年4月21日(火)～5月21日(木)必着
- 指導者 中村修一、内藤連ほか
- 申込方法 当該公演のチケットご購入後、協会ホームページ内の「募集情報」(応募フォーム)からお申込みください。 ※お一人様1通のみ受付します。

(お問い合わせ)

- 〒144-0052 東京都大田区蒲田5-37-3
(公財)大田区文化振興協会 文化芸術振興課
「狂言体験ワークショップ」係
TEL: 03-3750-1614 (月～金 9:00～17:00)

応募フォーム

